

園・学校・他機関との連携により本と子どもをつなぐ ～幅広い情報発信の場に～

静岡県 函南町立図書館

基本データ

所在地	静岡県田方郡函南町上沢 107番地の1
職員数	15人
うち司書数	8人
蔵書数	137,687冊
利用登録者数	19,112人
年間貸出冊数	323,521冊
(児童用図書貸出数 126,536冊)	

テーマ・活動のねらい等

【テーマ】子供の読書啓発、子供に対するサービスの充実

【活動のねらい】

- 「読書のまち・かんなみ」宣言に基づき、赤ちゃんから高校生世代まで切れ目のない、サービスをめざして実践している。
- 自力では図書館に来ることができない幼児のためには、町バス送迎により図書館見学会を行い、普段利用しない保護者にも図書館に来る機会を作っている。小中学校も町バス送迎することにより、引率の負担軽減を図っている。
- 公共図書館において、高校生が授業で学んだことや部活動の成果を発表し、活かす経験が高校生にとって、図書館が身近な場となり図書館を利用するきっかけになる。
- 図書館は町の情報拠点である、という観点から、他の機関と連携した事業を多数開催し図書館の情報発信力を高めている。

取組・活動の概要

(1) 幼稚園・保育園、小・中学校との連携

① 幼稚園・保育園親子図書館見学会

- 町内11ヶ園年長園児親子対象に、本の読み聞かせ、保護者への読み聞かせの講座及び本の貸出を実施。



幼稚園・保育園親子図書館見学会

② 小学校図書館見学会

- 町内5校の小学校3年生を対象に、ブックトークと本の貸出を実施。

③ 中学校図書館調べ学習会

- 町内2校の中学校1年生を対象に、図書館の本を利用した調べ学習会を実施。

※ ①～③いずれも町所有のバスで1クラスずつ送迎して実施し、当日借りた本は園・学校経由で返却可能

④ 授業支援

- 司書教諭(年1回)、学校司書(年4回)と連絡会議を行い、団体貸出、テーマ貸出、夏休み自由研究サポート、学校への読み聞かせボランティアサポート派遣、遠隔地の学校(2校)への出張貸出などを実施。

(2) 高校生との連携

- 近隣にある2校の県立高等学校と夏のイベント事業、新年おたのしみ袋事業などを協働実施。
- 県立田方農業高校園芸デザイン科フラワーコース教諭・生徒と「親子で楽しむ夏の寄せ植え体験」を実施。県立三島南高校とは英語絵本のおはなし会、新年おたのしみ袋事業を協働実施。
- 館内 YA コーナー設置の掲示板に、中高年生による本の紹介を展示し、YA 通信を発行。



親子で楽しむ夏の寄せ植え体験

(3) 町のお他機関との連携

①健康づくり課の保健師・栄養士との連携

- 本の特集展示：健康関連の月間や週間に合わせてテーマを「健康・検診・食育」などとし、関連本の紹介と検診案内の掲示やパンフレットの配布を行う。
- おはなし会スペシャル：保健師の講義も取り入れ、館内エントランスにおいて保健師・栄養士による出張健康・栄養相談を実施。



健康づくり課保健師・栄養士の健康・栄養出張相談

②子育て支援課、福祉課との連携

- おはなし会スペシャル：「発達障害啓発週間」と「子どもの読書週間」に合わせて実施。絵本作家さんによる自閉症の絵本読み聞かせや保育士によるリズム遊び、司書による手話を取り入れた大型絵本の読み聞かせなど実施。

③環境衛生課との連携

- 本の特集展示：リサイクル月間に合わせて、町のごみの量やリサイクルに関するパネルと環境関連の本を協働企画展示。
- おはなし会スペシャルで：環境衛生課職員による町のごみ収集に関するクイズや司書による環境に関する本の読み聞かせを実施。



環境衛生課とのおはなし会スペシャル 環境クイズ

取組・活動の工夫や特徴

- 園・学校との図書館見学・調べ学習会の事業は、年間教育課程に入れてもらうため、前年度の1月頃の園長会、校長会に出席し、授業時間などの確保を依頼している。また、町の管財課に町所有の大型バスを年間予約している。
- 県立高校には、年度当初校長に事業協力の依頼に行き、その後は担当教諭、生徒と打ち合わせ会を開催している。
- 他機関との連携事業では、様々な部署との連携によって紹介する本の幅が広がり、他機関にとっても図書館を通じて啓発活動ができるメリットになっている。

取組・活動の成果や今後の展望

- 学校司書と高校の図書館担当教諭と、連携を密にしていることで、たくさんの事業がスムーズに実施できており、新規事業にも協力が得られている。
- 図書館が実施する YA 世代参加型イベントや、YA 掲示板、YA 通信に高校生がたくさん参加しているため、読書活動が停滞する YA 世代へのサービスの充実につながっている。
- 他機関との連携では、開催前に打ち合わせ会等を実施するので、意見を出しあいながら、毎年実施する内容がバージョンアップしていく。
- 子ども達にとって図書館が、知識と情報の拠点として認識されるよう努めると同時に人とのつながりを感じる場として、園・学校・他機関との連携をさらに深化させ、今後も様々なサービスを提供していきたい。また、公共の図書館だからできることを実践し、地域の「知恵の和」を広げていきたい。